

金子孝信

Kaneke Takamobu

絵に託した熱き想い

2023

4/12 [水]

7/9 [日]

開館時間 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日 月曜日
入館料 一般 500 円、学生 (高校生以上) 300 円、
中学生以下無料
※20 名以上の団体は各料金から 2 割引き

上:金子孝信《銀座街頭》(部分) 昭和11年(1936) 右:金子孝信《自画像》(部分) 昭和13年(1938)
※いずれも個人蔵(新潟市潟東樋口記念美術館寄託)

主催 にいがた文化の記憶館、新潟県、新潟日報社
共催 新潟日報美術振興財団、BSN新潟放送、NIT新潟総合テレビ
協力 田村紙商事株式会社
協力 蒲原神社、新潟市潟東樋口記念美術館・新潟市潟東歴史民俗資料館

NNMC にいがた文化の記憶館

新潟日報メディアシップ5階
TEL. 025-250-7171



モダニズムの芽ばえ、失われた青春

新潟市の蒲原神社で神官の三男に生まれた金子孝信（1915～42年）は、画家を志し東京美術学校（東京藝術大学の前身）日本画科に学び、1940年、首席で卒業しました。ほどなく応召し、26歳の若さで、中国大陸で戦死しました。

遺族が大切に保管していた作品は一時期、戦没画学生作品を集めた「無言館」（長野県上田市）で常設展示されていましたが、のちに蒲原神社の遺族のもとへ。その後、新潟市西蒲区の潟東樋口記念美術館に寄託され、約20年前からコーナーが設けられています。

金子孝信の作品は、色彩の明るさ、細密な描写、意識的に強調された遠景と近景など、伝統的な日本画とは異なるモダンな画風が特徴です。今回、志半ばで夢を断たれた金子孝信の想いを貴重な作品や資料を展覧します。

本展では、長年、新潟市潟東樋口記念美術館で金子孝信展を開催していた元職員の中島榮一氏と宮沢淳子氏に企画に携わっていた金子孝信を紹介いたします。



上：金子孝信《子供たち》昭和13年（1938）個人蔵

左：金子孝信《子守り》昭和13年（1938）個人蔵

右：金子孝信《あきぼらけ》昭和11年（1936）個人蔵（新潟市潟東樋口記念美術館寄託）



担当芸員による 作品解説会

- ① 4月22日【土】
- ② 5月27日【土】
- ③ 6月24日【土】

各回とも、

時間：14:00～（約30分）

要当日入館券

（当館パスポート会員は無料）

事前申込み不要

（当日は直接当館へお越しください）

関連イベント

鼎談「金子孝信 ～絵に託した熱き想い～」

登壇者：金子隆弘氏（金子孝信の甥、蒲原神社宮司）
中島榮一氏（前新潟市潟東樋口記念美術館館長）
大倉宏氏（美術評論家、砂丘館館長）

日時：2023年5月13日（土）13:30～15:00（予定）

会場：新潟日報メディアシップ2階 日報ホール
（新潟市中央区万代3-1-1）

参加費：500円（会期中有効の観覧券付き）

※当館パスポート会員は無料

定員：150名 ※先着順、要事前申し込み（聴講券は発行しません）

お申し込み：

- ①はがき ②FAX ③当館窓口
- ④講演会専用申し込みフォーム

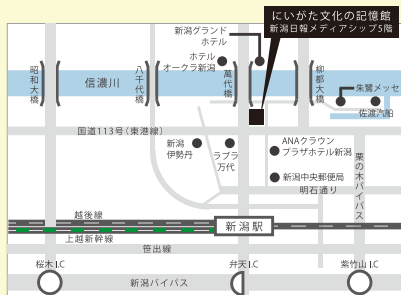
①～④のいずれかに「氏名、住所、電話番号」をご記入の上お申し込みください。聴講券は発行しません。定員に達して受付に漏れた方のみ、ご連絡を差し上げます。



申し込みフォーム
QRコード

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催内容に変更が生じる場合があります。

最新の情報は当館のウェブサイトやFacebookなどでご確認ください。



交通のご案内

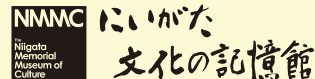
新潟駅から タクシー 約5分 / 徒歩 約15分
新潟空港から タクシー 約15分

駐車場のご案内

メディアシップ第1・第2駐車場（24時間営業）
第1駐車場 料金 220円 / 30分
第2駐車場 昼間料金 200円 / 30分

【エレベーターの運転時間について】

開館時間以外はメディアシップのエレベーターは5階に止まりません。ご来館の際はご注意ください。



〒950-0088
新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階

☎ 025-250-7171

Fax 025-250-7040

http://nmmc.jp/



割引券
一般・学生
料金
（切取不可）